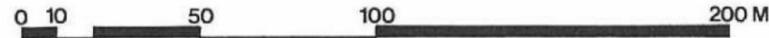


第4章 基本計画図

計画内容の検討及び設定や庁内協議会の協議内容を踏まえ、基本計画図の作成を行った。以下にその図面を示す。

スポーツ広場・裏山散策道の再整備方針図 S=1:2,000



I-1

ランニングコース: 全長 600m のゴムチップ舗装のランニングコースを整備する。



A-1

多目的スポーツ広場改修工事: 雨天時の排水不良による滞水対策として、表土の入れ替え等による排水対策を講じる。



F-1

裏山散策道出入口: 園路から散策道への出入口部には、散策ルートや見どころなどを表示した案内サインを設置し、利用者の導入を図る。



G-1

屋外トイレの改修・バリアフリー化

G-1

屋外トイレの改修・バリアフリー化

G-1

屋外トイレの改修・バリアフリー化

G-1

屋外トイレの改修・バリアフリー化

F-1

■サイン等で案内を行い、トレイルランニングコースとランニングコースを一体的に利用できるような整備を行う。

F-2

裏山散策道(散策用): 林内に設定された散策路及び林内を整備し、より多くの市民が里山林の散策・鑑賞を通して学習できるような場を整備する。裏山散策道は、利用者の安全を考慮し、トレイルランニングコース用と散策用を分けて整備する。現在、配置されている既存ベンチは老朽化している為、周囲の修景とともにベンチ、縁台等の休憩施設を整備する。



F-2

■自然の中を巡りながら一体的な利用ができるように、キャンプ場と庭園を結ぶ散策道を整備し、相互の利用促進を図る。

F-1

裏山散策道(トレイルランニングコース用): 里山散策道の西側は林内のクロスカンントリーコースとしても利用を想定した整備を行う。



裏山散策道[凡例]	
	出入口
	散策用
	トレイルランニングコース用

中心広場の再整備方針図 S=1:500



芝生広場: 現在の芝生広場と芝生のマウンドは、美しく管理され、本公園の景観の一つとなっている。芝生広場を維持するとともに、東側道路への飛び出しを防止する対策を講じていく。



現在の中心広場（芝生）の状況

B-2

フィットネスエリア: 現在の芝生広場の一角に人工芝の広場とシェルター（日陰空間）を設置し、休憩やストレッチ等を行えるエリアを確保する。



整備のイメージ

エントランス広場植栽: 成長不良の入口階段広場のクスノキは、撤去し、舗装化する。



B-1

芝生広場・車路境界部: 芝生広場からの飛び出しを防ぐ低木植栽帯を設置する。



低木植栽帯

B-1

芝生広場外周動線: 多目的スポーツ広場へのアクセス動線を受ける園路を確保する。

B-1

レストコーナー・シェルター: 自由広場コーナー部に配置されているシェルターは老朽化が進んでいるため、コンパクトにリニューアルし、イベント等でも利用できる舗装空間を広く確保する。



カマクラ撤去
低木植栽帯 広場空間の確保

B-1

駐車場境界部: 駐車場との境界部は低木植栽帯によって安全性を確保する。生育が不良なカマクラの高木植栽は撤去する。

芝生広場・キャンプ場の再整備方針図 S=1:500



H-1



D-2

既設トイレ: 既設のトイレは高齢者や身障者等の利用に配慮し、バリアフリー化し、利用者の利便性を高める。



D-3

既設テントサイト: 既設テントを撤去しデッキはそのまま残す計画とする。デッキ上には常設のものは設置せず持ち込んだテントを張ったり散策道途中の休息空間となるようにベンチを置いたり様々な利用が可能な形態へとリニューアルする。



デッキはそのまま残す

D-1

デイキャンプ場: デイキャンプ場として修景し一般に開放する。



縁台のリニューアル

C-1

桜の名所空間整備: 新たにサクラの品種を植栽し、年間を通じてサクラを楽しむ空間を創出。

C

C-2

健康運動器具: アップダウンのある周回ランニングコース沿いの芝生園地に休養・健康運動等に利用できる器具を配置し、コースの魅力アップを図る。



D-1

キャンプファイヤー広場: 広場は通常時、バーベキューコンロ等の持ち込みによるデイキャンプ場として一般に開放する。周辺の樹林地は、可能な範囲で除伐を行い、明るくオープンなキャンプ広場の雰囲気高める。



現在の状況

庭園の再整備方針図 S=1:500



ジャブジャブ池のイメージ



E-1

E-2

多目的トイレ: ジャブジャブ池整備に伴い、子どもの着替え、オムツ替え等にも対応した多目的トイレを設置する。

E-2

新設東屋: 子ども達が着替えができたり、親が休憩できるような東屋、ベンチ等の休憩施設を整備する。

大清水湿地: 当地域の丘陵部特有の湧水湿地と東海丘陵要素植物が保全されている観察エリアは、今後も保全管理をすすめ、自然観察会等のイベントを実施していく。また、里山散策ルート途中の主要ポイントとして解説サイン等の充実を図る。

既存植栽: 北側園地内の高中木・低木植栽を撤去し、広がりが見通しのある芝生園地をつくる。

既存植栽: 管理されたマツ・モミジ等の日本庭園的植栽は間引きにより見通しを確保したうえで、流れの背景として継承する。



E-1

流れの拡幅: 湧水口に近い、橋の周辺では、一部水路と橋を拡幅・延長し、水遊びができるジャブジャブ池コーナーをつくり、夏季の魅力スポットとする。

■キャンプ場へと繋がる散策路の動線を整備し、ジャブジャブ池、散策道、キャンプ場の一体的な利用が図れる計画とする。

キャンプ場へ

多目的芝生広場(グランドゴルフ・マレットゴルフコース)の再整備方針図

